



2022年6月20日

新居浜市  
三井住友海上火災保険株式会社  
MS & ADインターリスク総研株式会社

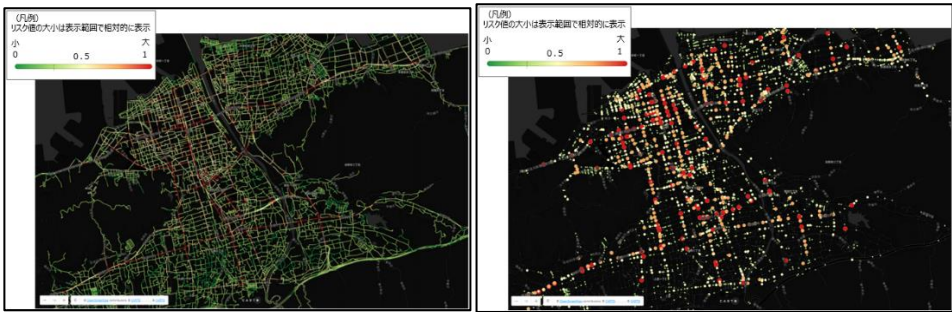
## 新居浜地域スマートシティ推進協議会における 交通事故発生リスクのAI予測等に関する実証実験

新居浜市（市長：石川 勝行、以下新居浜市）、MS & ADインシュアランス グループの三井住友海上火災保険株式会社（社長：船曳 真一郎、以下三井住友海上）およびMS & ADインターリスク総研株式会社（社長：中村 光身、以下MS & ADインターリスク総研）は、新居浜市の「新居浜地域スマートシティ推進協議会」における取組みとして、AI技術を活用した交通事故発生リスクを予測・可視化するサービスの開発に向けて、実証実験を実施しました。

### 1. 実証実験の概要

新居浜市は、IoTやAIを含むICT等の先端技術を活用しながら、地域の抱える諸課題の解決に取り組み、人々の生活の質を高め、持続的発展が可能なまち「スマートシティ」の実現を目指した取組みを推進しています。

本実証実験の第一弾では、MS & ADインターリスク総研が、従来有する交通リスクマネジメントに関する知見に加え、新たにAI技術を活用し、交通事故発生箇所データ、自動車走行データ、道路構造データ等を基に、道路（区間）や交差点の事故発生リスクを算出、さらに事故発生リスクの高い潜在箇所を予測する技術の開発に向けて、三井住友海上とともに、新居浜市において実証実験を実施しました。

実施期間	2021年10月～2022年3月
対象道路・交差点	道路約1,000km・交差点約6,700箇所
活用データ	交通事故発生箇所データ、自動車走行データ（ドライブレコーダーより取得）、道路構造、最高速度（制限速度）データ、人流データ等
予測結果イメージ	 <div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 10px;"> <span>&lt;道路&gt;</span> <span>&lt;交差点&gt;</span> </div>



また、自動運転車やオンデマンド交通サービス、マイクロモビリティ（電動キックボード等）、自動配送ロボット等の社会実装を視野にそれぞれの強みを更に進化させ、「安全・安心で快適なモビリティ社会」の実現を目指します。



SDGs:今回のテーマに当てはまる目標

以上